

KDDI ホスティングサービス (G120, G200)

XOOPS インストールガイド

(ご参考資料)

rev1.0

KDDI 株式会社

(目次)

1. XOOPSインストールガイド	3
1-1 はじめに.....	3
1-2 制限事項.....	3
1-3 サイト初期設定.....	4
2. XOOPSのインストール	9
3-1 はじめに.....	9
3-2 データベースの作成.....	9
3-3 XOOPSのインストール.....	10

1. XOOPSインストールガイド

1-1 はじめに

KDDI ホスティングサービスの G120, G200 では、XOOPS のインストールが可能です。ここではその手動インストール方法をご説明いたします。

1-2 制限事項

- ・ 本サービスでは、XOOPS の機能や操作方法のサポートは行なっておりません。書籍またはインターネットをご参考にしてください。
- ・ 本書は、DNSサーバおよびレコードが設定されていることを前提としております。DNS切替前のお客さまはセットアップできない場合がございますが、その際は、クライアントPCのhostsファイルをKDDIホスティングサービスのIPアドレスに設定してください。(hostsファイルの操作については、サポートしておりませんので、Microsoftのサイトもしくは書籍等をご参考してください。ホスティングサービスのIPアドレスの確認方法は、「セットアップガイド」をご参考してください)

1-3 サイト初期設定

XOOPSをご利用になるには、事前にウェブサーバを起動しておく必要があります。ウェブサーバの起動については、コントロールパネルより「ウェブホスティングの追加」を行ないます。

- (1) コントロールパネルにログインし、[ドメイン名] > [ドメイン名の管理] を選択します。表示されているドメインリストの中で、XOOPS をインストールするドメインの「ウェブホスティング」を追加します。

※ 既にウェブホスティングを設定済みの場合は必要ありません。

この欄が空欄の場合は、追加する必要があります。

- (2) (1)にて、[ドメイン名]をクリックして、ウェブホスティングの追加を行ないます。

ホスティングの追加

- (3) ホスティングに「ウェブサイト(Microsoft IIS)」が表示されていることを確認し [次へ] をクリックします。

次へ >>

- (4) ドキュメントルートへのパスを指定し [次へ] をクリックします。
(ドメイン・サブドメインを追加する場合は、任意のディレクトリ名を入力します。デフォルトではドメイン名のディレクトリが wwwroot の下に作成されます。通常はデフォルトのままです。)

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > kddi.collaby.com Screen ID: 2.72.11.70

ウェブホスティングの追加 リフレッシュ

ウェブスペース設定

ウェブサイト: ウェブスペース (IIS 6.0)

場所: example.com
(サブドメインのドキュメントルートとして指定したディレクトリ(パス)がなかった場合には、自動的にパスが作成されます。)

<< 戻る 次へ >> キャンセル

- (5) ウェブサイトの詳細設定を行ないます。PHP や Perl、ASP のご利用有無と FTP のパスワードを設定してください。(※一度作成した後でも再度設定変更が可能です)

「PHP のサポート」の設定を「ISAPI extension として実行」にします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > kddi.collaby.com Screen ID: 2.72.11.66

新しいウェブスペースの追加 リフレッシュ

ウェブサイトの設定パラメーターを入力してください。

ウェブサイトのパラメーター

ドメイン名: kddi.collaby.com

IISのバージョン: IIS 6.0

ウェブサイトの設定

SSIのサポート:

PHPのサポート: ISAPI extension として実行

Active Perlサポート:

ASPのサポート:

ASP.NET サポート: ASP.NET 2.0

FTPの設定

FTPのサポート

ログイン名: <自動的に生成されます>

パスワード:

パスワードを確認:

新しいパスワードを生成

<< 戻る 次へ >> キャンセル

- (6) アクセス解析 AWStats を利用する場合は「AWstats をこのドメイン名にインストール」のチェックボックスにチェックを入れ、パスワードを設定します(利用されない場合はチェックを入れなくても構いません)。
[次へ] をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [ドメイン名].com
Screen ID: 2.11.11.61
ウェブホスティングの追加
リフレッシュ

AWStats

AWstatsをこのドメイン名にインストール

パスワード:

新しいパスワードを生成

<< 戻る 次へ >> キャンセル

- (7) 確認画面が表示されます。設定した内容を確認し、[完了]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ドメイン名 > ドメイン管理 > [ドメイン名].com
Screen ID: 2.11.11.57
ウェブホスティングの追加
リフレッシュ

i ホスティング作成の概要:
ウェブサイト (Microsoft IIS) のホスティング再設定の準備が完了しました。入力した設定値に間違いが無いか確認してください。また、完了ボタンをクリックすると現在のドメインに関する設定が強制更新され入力項目が新たに設定されます。一部の変更の場合は、該当ドメインの[ウェブ管理]の[全般]画面で変更を行ってください。

ウェブスペース設定

ウェブサイト: www.[ドメイン名].jp
場所: [ドメイン名].com

AWStats

AWstatsをこのドメイン名にインストール: いいえ

<< 戻る 完了 キャンセル

(8) 全般の「同期」、DNSの設定の「DNSホスティングステータス」の2項目が、[いいえ] から [はい]、[更新中] から [準備完了] のステータスにそれぞれ変わると、ご利用いただけます。

(ステータスは自動では変わりません。右上の[リフレッシュ] をクリックするとステータスが更新されます。)

Screen ID: 2.11.11.5

example.com リフレッシュ

概要 DNS管理 ウェブ管理 ウェブサイト管理者 ウェブアプリケーション

全般

ID: [不明]
名前: [不明].com
同期: いいえ
ゾーン管理機能: 有効

編集

DNSの設定

DNSホスティングステータス: 更新中
DNS管理: 有効

ウェブホスティング

ウェブホスティングタイプ: Microsoft IIS 6.0 (ウェブスペース)
URL: http://[不明].com
場所: /wwwroot/[不明].com
同期: いいえ

準備完了

※ご注意

同期ステータスが「はい」(緑色) に変わるまで、約 1 分～10 分程度かかります。

(9) デフォルトページの優先順位を確認・設定します。

左メニューより、[ウェブサイト]>[ウェブサイトの設定]を選択し、タブより[デフォルトページ]をクリックします。

契約ID: [非表示]
ウェブスペース: [非表示]

メニュー
ドメイン

ウェブサイト
ウェブサイトの設定
ファイルマネージャー
データベース
DSMの管理
証明書
バックアップ

eメール
ユーザー
統計と分析

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト
Screen ID: 2.72.31.58
リフレッシュ

ウェブサイトの設定
概要 パフォーマンス ログ **デフォルトページ** エラーページ MIMEタイプ アプリケーションプール

デフォルトページのリストです。ドキュメントは指定された優先順位に従って検索されます。

編集 削除

合計7 アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

優先順位	ドキュメント
<input type="checkbox"/> 0	Default.htm
<input type="checkbox"/> 1	Default.asp
<input type="checkbox"/> 2	Default.aspx
<input type="checkbox"/> 3	index.php
<input type="checkbox"/> 4	index.htm
<input type="checkbox"/> 5	index.html
<input type="checkbox"/> 6	index.php5

合計7 アイテム 1ページあたりの表示数: 25 50 100

(9) 「index.php」ファイルの優先順位を「index.html」よりも高くします。（「優先順位」の値が小さいほど、優先度は高く設定されています）[編集]ボタンをクリックすると、優先順位を設定できます。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト
Screen ID: 2.72.31.59
リフレッシュ

ウェブサイトの設定
概要 パフォーマンス ログ **デフォルトページ** エラーページ MIMEタイプ アプリケーションプール

デフォルトページのリストです。ドキュメントは指定された優先順位に従って

デフォルトページ:

Default.htm
Default.asp
Default.aspx
index.php
index.htm
index.html

Default.htm
Default.asp
Default.aspx
index.php
index.htm
index.html

(ドキュメントは指定された順序で検索されます。区切り記号として「Enter」、セミicolon、またはカンマを使用してください。)

送信 キャンセル

2. XOOPSのインストール

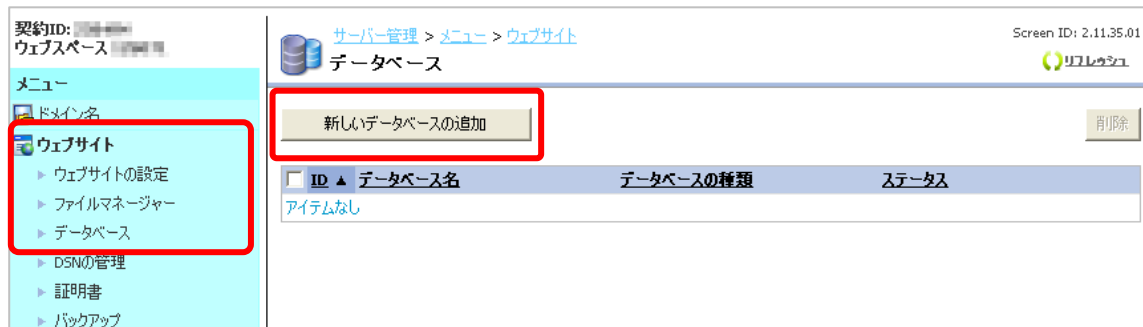
3-1 はじめに

ウェブサーバの初期設定「1-3 サイトの初期設定」が実施されていることを前提に以下手順を記します。

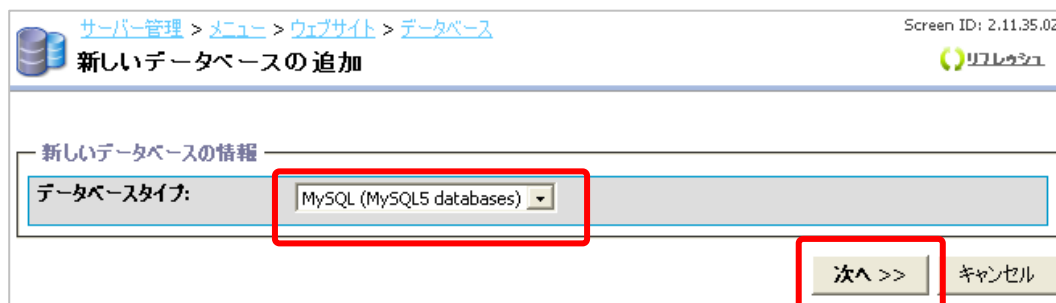
3-2 データベースの作成

XOOPS で利用するデータベースを作成しておきます。

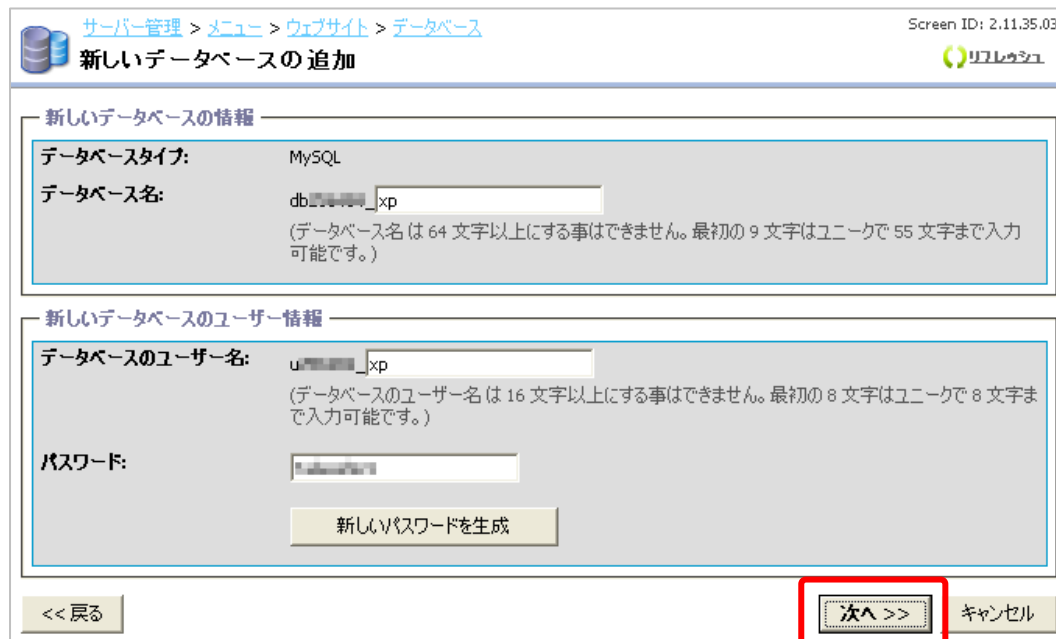
(1) メニューより、[ウェブサイト]>[データベース]を選択し、[新しいデータベースの追加]をクリックします。



(2) データベースタイプに「MySQL (MySQL5 databases)」を選択して、[次へ]をクリックします。



(3) データベースの情報および、ユーザ情報を設定し、[次へ]をクリックします。



- (4) 設定情報を確認し、よろしければ[確認]をクリックします。

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト > データベース
Screen ID: 0.00.00.00
新しいデータベースの追加

概要:
新しいデータベースの作成準備ができました。下記のデータが正しいことを確認してください

新しいデータベースの情報

データベースタイプ: MySQL
データベース名: db[redacted]_xp
ディスク容量リソース: Diskspace [MySQL5]

新しいデータベースのユーザー情報

データベースのユーザー名: u[redacted]_xp
パスワード: *****

<< 戻る 完了 キャンセル

- (5) ステータスが「作成中」から「準備完了」になればデータベースの作成が完了です。
(画面の更新は自動では行われません。[リフレッシュ]ボタンで更新されます。更新には数分かかります)

ID	データベース名	データベースの種類	ステータス
17175	db[redacted]_xp	MySQL	● 準備完了

3-3 XOOPSのインストール

※本マニュアルは、http://www.お客さまドメイン名/xp/ の URL でインストールした場合の手順をご紹介します。

- (1) インストール先ディレクトリを作成します。
コントロールパネルのメニューより、「ウェブサイト」>「ファイルマネージャーを開く」をクリックして、ファイルマネージャーを表示させます。(ファイルマネージャーの初期設定が完了していない場合は、設定します。)

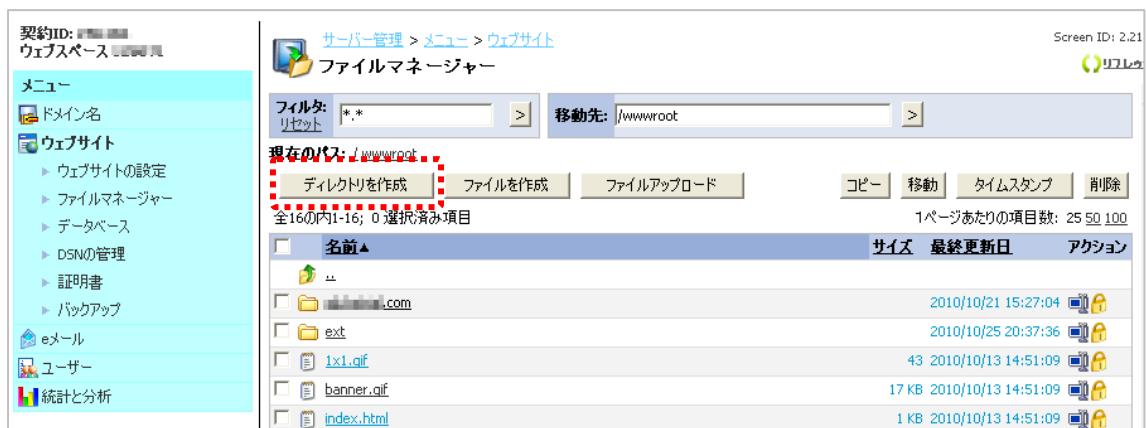
契約ID: [redacted]
ウェブスペース [redacted]

サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト
Screen ID: 2.21.05.
ファイルマネージャー

ファイルマネージャー

ファイルとフォルダの管理: [ファイルマネージャーを開く](#) ⇄
ステータス: ● 準備完了

- (2) 「wwwroot」をクリックし、XOOPS をインストールするドメインのディレクトリを選択(無い場合は「ディレクトリを作成」)します。



「ディレクトリを作成」する場合、下記のように名称を入力できます。本マニュアルでは、「example.com」をサンプルに説明いたします。



- (3) インストール先ディレクトリのアクセス権の変更を行います。

上記で作成した [example.com] のディレクトリに対し [Anonymous Web ユーザー] の書き込み権限を付与します。作成したディレクトリ右側の錠マーク🔒 をクリックします



- (4) [Anonymous Web ユーザー]の書き込み権限にて、[許可]にチェックを入れて、[OK]をクリックします。



(5) インストール用ファイルの編集を行いません。

コントロールパネルにて、[ウェブサイト] [ファイルマネージャー] より、[ファイルマネージャーを開く]をクリックし、
wwwroot > ext の順番でフォルダを選択いたしますと、[**extract.php]という形式のファイルをご確認いただけます。XOOPS をインストールするには、[XP-extract.php]のファイルをご選択ください。



ファイルマネージャにて[XP-extract.php]のファイルが無い場合は[こちら](#)

(<http://www.kddi.com/pub/hosting-g/application/XP-extract.zip>)よりダウンロードできます。

ダウンロードした圧縮ファイルを解凍し、テキストエディタで開きます。

(テキストエディタが無い場合は、メモ帳へドラッグ&ドロップすると開くことができます)

5 行名の解凍先ディレクトリをお客さま環境に合わせて修正します (**赤文字・太字部分**)。

お客さま環境の確認方法は、(6)にて確認できます。

```

//////CONFIG//////
define('ARCHIVE_URL',
'http://apps.kddihs.jp/xoops/XOOPS_cube_Legacy_2_1_4.ziphttp://apps.kddihs.jp/XOOPS/X
OOPS.zip');
define('PATH_TO_EXTRACT',
'D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_*****¥wwwroot¥解凍先ディレクトリ');
//////CONFIG//////

```

- (6) 解凍先ディレクトリ(サーバーパス)は以下の流れで確認します。

[ウェブサイト]より、[ウェブサイトの設定]にて [PHP のサポート:]を選択し、[PHP のサポート:]をクリックし、
_SERVER ["APPL_PHYSICAL_PATH"]をご確認いただけます。

The screenshot shows the 'ウェブサイトの設定' (Website Settings) page. Under '基本設定' (Basic Settings), the 'PHP のサポート:' (PHP Support) option is selected and highlighted with a red box. Below this, the '_SERVER ["APPL_PHYSICAL_PATH"]' field is visible, containing the path 'D:\CustomerData\webspaces\webpace_00101241\wwwroot\'.

このパス情報を(8)にて設定いたします。(パス情報はお客さまによって上記とは異なります)

- (7) 解凍先ディレクトリの編集を行います。

以下のキャプチャは、example.com というドメイン名の場合に、

D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_***¥wwwroot¥example.com¥xp**

にインストールする場合は、

D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_***¥wwwroot¥example.com**と

入力します

```

1 <?php ↓
2 ↓
3 //////////////////////////////////////////////////
4 define('ARCHIVE_URL', 'http://apps.kddihs.jp/wordpress/wordpress.zip'); ↓
5 define('PATH_TO_EXTRACT', 'D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_*****¥wwwroot¥解凍先ディレクトリ'); ↓
6 //////////////////////////////////////////////////
7 ↓
8 $pattern = '|.+/(.+)$|'; ↓
9 preg_match($pattern, ARCHIVE_URL, $matches); ↓
10 define('FILE_NAME', $matches[1]); ↓
11 ↓

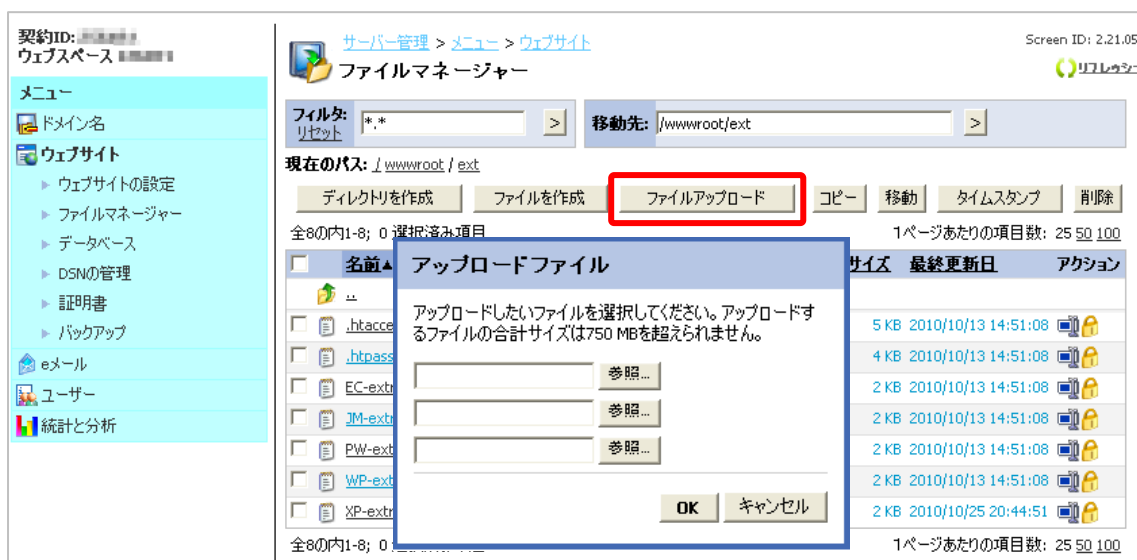
```

記述例)
D:¥CustomerData¥webspaces¥webpace_00101241¥wwwroot¥example.com

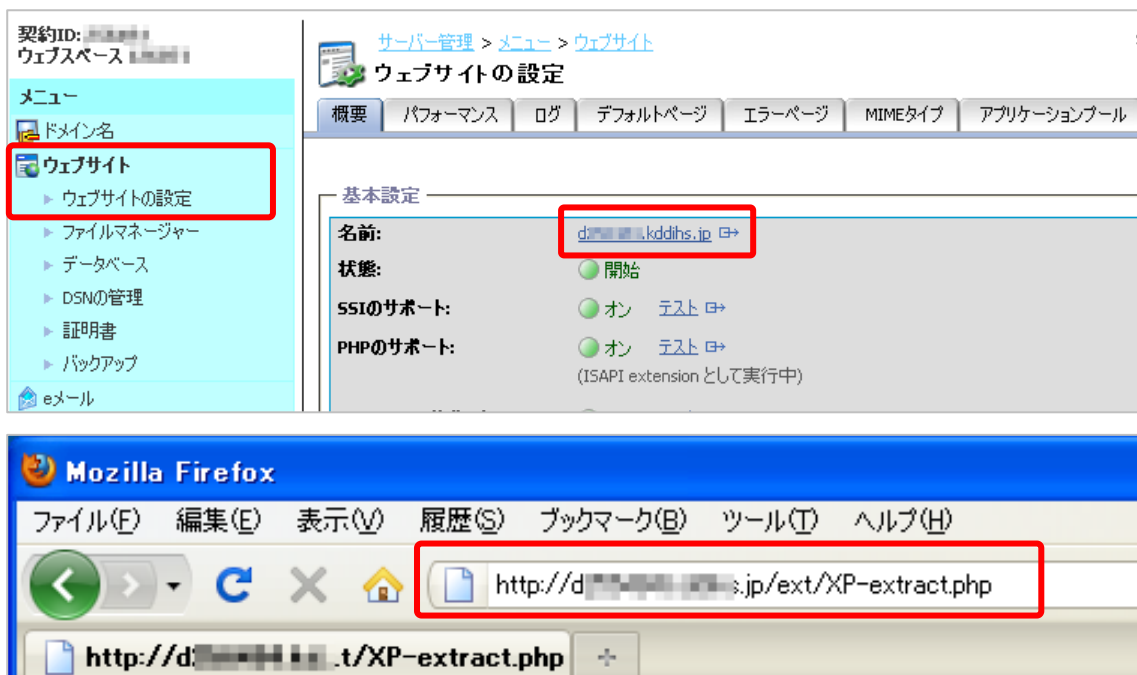
編集したファイルを上書き保存します。(ファイル名: XP-extract.php)

- (8) 編集したファイルを「ファイルマネージャ」でアップロードします。

アップロードするファイル	XP-extract.php
アップロード先のディレクトリ	¥wwwroot¥ext



- (9) アップロード完了後、[XP-extract.php]を実行します。メニューより[ウェブサイト]>[ウェブサイトの設定]を選択し、[名前]のリンクをクリックします。新しいブラウザが表示された後、
http://d*****.kddihs.jp/ext/XP-extract.php
とアドレスを修正して、アクセスします。



インストールの準備のためのスクリプトが実行されます。
「Start」から「Done」まで大量の結果が出力されます。(数千行)

```
Start
get http://www.example.jp/xoops/XOOPS_cube_Legacy_2_1_4.zip
file -> D:\CustomerData\webspaces\workspace_00000001\wwwroot\www.example.com\XOOPS_cube_Legacy_2_1_4.zip
extract dir -> D:\CustomerData\webspaces\workspace_00000001\wwwroot\www.example.com
D:\CustomerData\webspaces\workspace_00000001\wwwroot\www.example.com\Package_Legacy/docs/CHANGES.txt
...
D:\CustomerData\webspaces\workspace_00000001\wwwroot\www.example.com\Package_Legacy/html/viewpmsg.php
D:\CustomerData\webspaces\workspace_00000001\wwwroot\www.example.com\Package_Legacy/html/xoops.css
Done...
```

※ご参考

「Start」から「Done」まで 4 行程度 (数行) しか出力されていない場合は、正しく動作していません。

インストールしようとしているディレクトリ (ここでは example.com) に「Anonymous Web ユーザー」の書き込みアクセス権限が付与されているかどうか? (2-4 (4)) をご確認ください。

アクセス権の設定: /wwwroot/www.example.com

Display name	Login	User type	読み取り		書き込み		実行	
			許可	拒否	許可	拒否	許可	拒否
<blank>	column.login.blank	アプリケーションプールアイデンティティアカウント	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<blank>	column.login.blank	Anonymous Web ユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<blank>	WIN-SV#w00126071	認証されたFTPユーザー	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(11) 展開されたディレクトリの名前を変更します。メニューの[ウェブサイト]>[ファイルマネージャー]を選択し、wwwroot > example.com の順番でフォルダを選択いたしますと、[Package_Legacy]というディレクトリが表示されます。[Package_Legacy]右側の[ディレクトリ名の変更]ボタンを選択しディレクトリ名を変更します。本マニュアルでは、http://www.example.com/xp/としてインストールするため、xp と入力します。





サーバー管理 > メニュー > ウェブサイト
Screen ID: 2.21
ファイルマネージャー

フィルター: *.* > 移動先: /wwwroot/example.com

現在のパス: /wwwroot/example.com

ディレクトリを作成 ファイルを作成 ファイルアップロード コピー 移動 タイムスタンプ 削除

全16の内1-16; 0 選択済み項目 1ページあたりの項目数: 25 50 100

名前▲	サイズ	最終更新日	アクション
..			
Package_Legacy		2010/11/25 13:13:16	
1x1.gif	43	2010/11/25 11:35:14	
banner.gif	17 KB	2010/11/25 11:35:14	
index.html		2010/11/25 11:35:14	

名前の変更

新しい名前を入力

xp

名前の文字数は 133 文字を超えられません

OK キャンセル

(12) XOOPS へアクセスいたします。

ブラウザで「[http://www.example.com\(お客様のドメイン名\)/xp/html](http://www.example.com(お客様のドメイン名)/xp/html)」へアクセスし、インストールウィザードに従ってインストールします。下記画面で、「次へ」をクリックします。



(13) 「次へ」をクリックします。



(14) 「次へ」をクリックします。



(15) データベースの設定を行いません。データベース情報は、3-2 で作成したデータベースの情報を記載します。(コントロールパネルよりご確認できます。)

XOOPS 上の設定項目	コントロールパネル該当箇所
データベースサーバのホスト名	[全般]タブ内の「内部ネットワーク用ホスト名」
データベースユーザ名	[ユーザー]タブ内の「ユーザー名」
データベースパスワード	[ユーザー]タブ内の「パスワード」 (編集ボタンをクリックすることで確認可能)
データベース名	[全般]タブ内の「データベース名」

(16) 設定情報を確認し、よろしければ「次へ」をクリックします。



データベースサーバ	mysql
データベースサーバのホスト名	mysql[redacted].jp
データベースユーザ名	u[redacted]_xp
データベースパスワード	[redacted]
データベース名	db[redacted]_xp
テーブル接頭語	a88a2c
SALT	4cbe87fa
データベースへ持続的接続	いいえ
XOOPS Cubeへのパス	D:/CustomerData/webspaces/ /webspaces_[redacted]_xp/wwwroot /[redacted].com/xp/html
XOOPS CubeへのURL	http://[redacted].com/xp/html

(16) 「次へ」をクリックします。



設定の保存

- ファイル../mainfile.phpがファイル../mainfile.dist.phpで上書きされました。
- 定数XOOPS_ROOT_PATHがD:/CustomerData/webspaces/[redacted]_xp/wwwroot/[redacted].com/xp/htmlに設定されました。
- 定数XOOPS_URLがhttp://[redacted].com/xp/htmlに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_TYPEがmysqlに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PREFIXがa88a2cに設定されました。
- 定数XOOPS_SALTが4cbe87faに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_HOSTがmysql[redacted].jpに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_USERがu[redacted]_xpに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PASSが[redacted]に設定されました。
- 定数XOOPS_DB_NAMEがdb[redacted]_xpに設定されました。
- 定数XOOPS_DB_PCONNECTが0に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_ADMINが1に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_USERSが2に設定されました。
- 定数XOOPS_GROUP_ANONYMOUSが3に設定されました。

設定を、mainfile.phpへ書き込みました。

(17) 設定情報を確認し、「次へ」をクリックします。



The screenshot shows the 'XOOBS Cube Installation' interface. The title bar includes the XOOBS logo and the text 'XOOBS Cube Installation' and '画面上の指示に従って設定を行ってください'. Below the title bar, there is a navigation bar with 'パス・URLのチェック >>' and a '次へ' button. The main content area is titled '設定の保存' (Settings Saved) and contains a list of 14 green checkmarks indicating successful configuration of various parameters such as XOOBS_ROOT_PATH, XOOBS_URL, XOOBS_DB_TYPE, XOOBS_DB_PREFIX, XOOBS_DB_SALT, XOOBS_DB_HOST, XOOBS_DB_USER, XOOBS_DB_PASS, XOOBS_DB_NAME, XOOBS_DB_PCONNECT, XOOBS_GROUP_ADMIN, XOOBS_GROUP_USERS, and XOOBS_GROUP_ANONYMOUS. A summary line at the bottom of the list states '設定を、mainfile.phpへ書き込みました。' (Settings were saved to mainfile.php). On the left side of the main content area, there is a cartoon character holding a pencil and the text 'Let's Start !!'. At the bottom of the screen, there is another navigation bar with 'パス・URLのチェック >>' and a '次へ' button.

(18) 設定情報を確認し、「次へ」をクリックします。



This screenshot is identical to the one above, showing the 'XOOBS Cube Installation' interface with the '設定の保存' (Settings Saved) confirmation page. It displays the same list of 14 green checkmarks for configuration parameters and the summary line '設定を、mainfile.phpへ書き込みました。' (Settings were saved to mainfile.php). The interface includes the XOOBS logo, title bar, navigation bar with 'パス・URLのチェック >>' and '次へ' buttons, a cartoon character on the left, and a bottom navigation bar with 'パス・URLのチェック >>' and '次へ' buttons.

(19) 設定情報が保存されます。「次へ」をクリックします。

設定の保存

- ファイル../mainfile.phpがファイル../mainfile.dist.phpで上書きされました。
- 定数XOOBS_ROOT_PATHがD:/CustomerData/webspaces/...に設定されました。
- 定数XOOBS_URLがhttp://...に設定されました。
- 定数XOOBS_DB_TYPEがmysqlに設定されました。
- 定数XOOBS_DB_PREFIXがa88a2dに設定されました。
- 定数XOOBS_SALTが4cbe87falに設定されました。
- 定数XOOBS_DB_HOSTがmysql...に設定されました。
- 定数XOOBS_DB_USERがu...に設定されました。
- 定数XOOBS_DB_PASSが...に設定されました。
- 定数XOOBS_DB_NAMEがdb...に設定されました。
- 定数XOOBS_DB_PCONNECTが0に設定されました。
- 定数XOOBS_GROUP_ADMINが1に設定されました。
- 定数XOOBS_GROUP_USERSが2に設定されました。
- 定数XOOBS_GROUP_ANONYMOUSが3に設定されました。

設定を、mainfile.phpへ書き込みました。

(20) データベーステーブルが作成されます。「次へ」をクリックします。

データベーステーブル作成

- a88a2c_avatarテーブルを作成しました。
- a88a2c_avatar_user_linkテーブルを作成しました。
- a88a2c_bannerテーブルを作成しました。
- a88a2c_bannerclientテーブルを作成しました。
- a88a2c_bannerfinishテーブルを作成しました。
- a88a2c_block_module_linkテーブルを作成しました。
- a88a2c_xoopscommentsテーブルを作成しました。
- a88a2c_xoopsnotificationsテーブルを作成しました。
- a88a2c_configテーブルを作成しました。
- a88a2c_configcategoryテーブルを作成しました。
- a88a2c_configoptionテーブルを作成しました。
- a88a2c_groupsテーブルを作成しました。
- a88a2c_group_permissionテーブルを作成しました。
- a88a2c_groups_users_linkテーブルを作成しました。
- a88a2c_imageテーブルを作成しました。
- a88a2c_imagebodyテーブルを作成しました。
- a88a2c_imagecategoryテーブルを作成しました。
- a88a2c_imgsetテーブルを作成しました。
- a88a2c_imgset_tplset_linkテーブルを作成しました。
- a88a2c_imgsetimgテーブルを作成しました。
- a88a2c_modulesテーブルを作成しました。
- a88a2c_newblocksテーブルを作成しました。
- a88a2c_onlineテーブルを作成しました。
- a88a2c_priv_msgsテーブルを作成しました。
- a88a2c_ranksテーブルを作成しました。
- a88a2c_sessionテーブルを作成しました。
- a88a2c_smilesテーブルを作成しました。
- a88a2c_tplsetテーブルを作成しました。
- a88a2c_tplfileテーブルを作成しました。
- a88a2c_tplsourceテーブルを作成しました。
- a88a2c_usersテーブルを作成しました。

データベーステーブルが作成されました。

(20) XOOPS の際と管理者情報をお客さまの任意で設定し、「次へ」をクリックします。

画面上的指示に従って設定を行ってください

データの生成 >> 次へ

Let's Start !!

サイト管理者についての設定

サイト管理者のユーザ名、ユーザパスワード、およびメールアドレスを入力してください。

管理者ユーザ名

管理者メールアドレス

管理者パスワード

管理者パスワード(再入力)

データの生成 >> 次へ

(21) データの生成が行なわれます。「次へ」をクリックします。

画面上的指示に従って設定を行ってください

完了 >> 次へ

Let's Start !!

データの生成

- 1個のデータがデータベース a88a2c_bannerclient にインサートされました。
- 4個のデータがデータベース a88a2c_configcategory にインサートされました。
- 17個のデータがデータベース a88a2c_configoption にインサートされました。
- 1個のデータがデータベース a88a2c_imgset にインサートされました。
- 1個のデータがデータベース a88a2c_imgset_tplset_link にインサートされました。
- 7個のデータがデータベース a88a2c_ranks にインサートされました。
- 17個のデータがデータベース a88a2c_smiles にインサートされました。
- 3個のデータがデータベース a88a2c_groups にインサートされました。
- 1個のデータがデータベース a88a2c_banner にインサートされました。
- 1個のデータがデータベース a88a2c_tplset にインサートされました。
- 44個のデータがデータベース a88a2c_config にインサートされました。
- 1個のデータがデータベース a88a2c_users にインサートされました。
- 2個のデータがデータベース a88a2c_groups_users_link にインサートされました。

定数 XOOPS_GROUP_ADMIN が 1 に設定されました。

定数 XOOPS_GROUP_USERS が 2 に設定されました。

定数 XOOPS_GROUP_ANONYMOUS が 3 に設定されました。

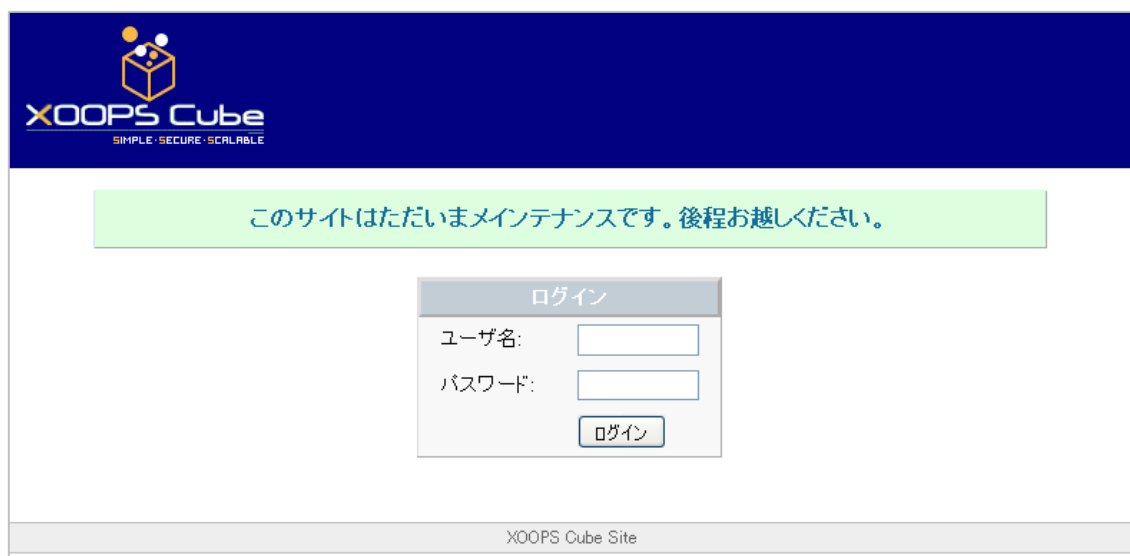
完了 >> 次へ

(22) インストールの第 1 ステップが終了し、インストールの第 2 ステップについて表示されます。確認し、「次へ」をクリックします。



The screenshot shows the 'XOOBS Cube Installation' interface. The top header includes the logo and the text '画面上的指示に従って設定を行ってください'. Below the header, there is a navigation bar with 'インストール第2ステップ >>' and a '次へ' button. The main content area is titled 'インストール第1ステップ完了' and contains a section 'インストールの第2ステップについて'. This section includes instructions for the second step, such as logging in with the administrator user ID and selecting modules. A sidebar on the left features a cartoon character and the text 'Let's Start !!'. At the bottom, there are links for 'XOOBS Cubeの使い方について' and 'サポート', and another navigation bar with 'インストール第2ステップ >>' and '次へ'.

(23) 管理画面にログインできます。サイト管理者を設定したユーザ名、パスワードにてログインした後、お客様の環境に合うよう設定できます。



The screenshot shows the XOOBS Cube login interface. The top header features the logo and the text 'SIMPLE · SECURE · SCALABLE'. A green banner at the top of the main content area displays the message 'このサイトはただいまメンテナンスです。後程お越しください。'. Below the banner is a login form titled 'ログイン' with fields for 'ユーザ名:' and 'パスワード:', and a 'ログイン' button. The footer of the page contains the text 'XOOBS Cube Site'.

※ご注意

XOOPS の機能や管理画面の操作方法は、サポート対象外となります。
詳細については、書籍またはインターネット等をご活用ください。